

2015年6月17日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報第34号

ホシーニャ・ファベラ（貧民街）で銃撃戦が発生

当地主要紙オ・グローボ電子版 G1 によれば、6月17日（水）午前7時頃、リオ市内のホシーニャ貧民街において、警察の特殊部隊による作戦が実行された際、麻薬密売組織との間で大規模な銃撃戦が発生し、流れ弾により少年1人が頭に怪我をした模様です。

- ホシーニャ貧民街は南米最大のファベラで、約7万人の貧民層が暮らしているとされています。
- 銃撃戦は午前中一杯続いており、本日正午現在も収束していません。
- 本件の影響により、本日正午現在、同スラム街入り口付近は大渋滞が発生するなど混乱が続いています。
- 同ファベラはバツハ地区と南部地区（ゾナ・スール）の中間点に位置していますので、特に両地区を行き来する際には注意が必要です。